

第2問 室町時代の対外関係 (15点満点)

A 東アジア世界の外交上の原則 (基準の合計3点 3点満点)

* 原則

[文章(1)・(2)](外交上の国家間関係) 国王同士によって結ばれる / (外交権) 国王間のとりきめに基づいて行使される 3点以内

「海禁」にかかわる記述は、文章(1)・(3)に適合しないので加点対象にしない。

B 明・朝鮮(李朝)の対日本通交 (基準の合計12点 9点満点)

* 明の場合

[特質 = 文章(2)](足利義満を) 「日本国王」とした / (足利義満を) 冊封した / 「日本国王」の朝貢のみを認めた / (「人臣に外交なし」という) 東アジア外交の基本原則を維持した 3点以内

[特質] 遣明船に(王に与えた)勘合*持参を義務づけた / 勘合*貿易のみを許可した / (王に与えた) 勘合*を持参した(遣明船による)朝貢貿易のみを許可した 2点以内

* 朝鮮(李朝)の場合

[特質 = 文章(3)] 「日本国王」以外(の朝貢を認めた) / (「人臣に外交なし」という) 東アジア外交の基本原則が守られなかった 3点以内

[特質 = 文章(3)] 守護大名*や国人*・商人など(の朝貢を受けいれた) / 多様な人々・勢力(の朝貢を受けいれた) 2点以内

👉 論理構成点(R)のポイント

B 設問Aを前提にした思考ができているか / 対日本通交における相違点を対比的にまとめられているか 2点以内

C 朝鮮(李朝)が日朝貿易を制限した理由 (基準の合計3点 3点満点)

* 理由

[文章(3)・(4)](日本からの多様な人々の朝貢) 国家財政を圧迫 3点以内